

テーマ/情報化 ～携帯電話と子どもたち～

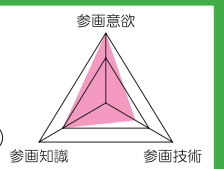
5 「携帯電話、本当に必要ですか？」 ～ 保護者や子どもたちに提案しよう ～



参加対象：青少年の健全育成に関心のある住民 募集人員：30名程度
会 場：町公民館視聴覚室



- 地域の子どもたちに声をかけたりすること ②
- 地域に関する情報などを地域内外に発信しようとする事 ⑤
- 地域で活動している人や団体・組織などに関する情報を持っていること ⑭



講座全体のねらいと流れ

携帯電話の功罪を理解するとともに、地域の保護者や子どもたちに「携帯電話」に関していくつかの提案をすることができる。

アクティビティ① 携帯電話3つのコーナー	【15分】
アクティビティ② 携帯電話の功罪を理解しよう	【85分】
アクティビティ③ もう一度、携帯電話3つのコーナー	【10分】
アクティビティ④ 提案書をつくろう	【40分】

携帯電話3つのコーナー 【15分】

準備物 3つのコーナーのカード

ねらい 中学生の携帯電話の所持について、いろいろな考えがあることがわかる。

- ① 「携帯電話を中学生に持たせることをどう思うか」という質問に、「賛成」「反対」「どちらともいえない」の3つのコーナーのいずれかに移動する。
- ② 各コーナーの数人が、選んだ理由を発表する。
- ③ できるだけ異なった考えの人が同じグループになるように、4人のグループをつくる。

アドバイス
深く考えず、思いついたまま移動するように伝えましょう。

アドバイス
異なった考えの人がグループを組むことで、いろいろな考え方にふれることができるようにしましょう。

携帯電話の功罪を理解しよう

【85分】

ねらい

子どもたちと携帯電話のかかわり状況を知るとともに、携帯電話の便利さや、そこに潜む危険性があることがわかる。

- ① 付箋紙に、携帯電話のよいところ、悪いところを思いつくだけ書き出す。
- ② よいところ、悪いところに分けて、グループで話し合い、似たような内容の付箋紙を近くに並べる。
- ③ 「ケータイ社会の落とし穴」のDVDを視聴後、担当者より、子どもたちと携帯電話のかかわりなどの説明を受ける。
- ④ グループで、「中学生に携帯電話は必要か」を話し合う。

準備物

付箋紙、DVD「ケータイ社会の落とし穴」、携帯電話に関する資料

アドバイス

悪い面にだけ目がいき「携帯電話＝悪」とならないように注意しましょう。

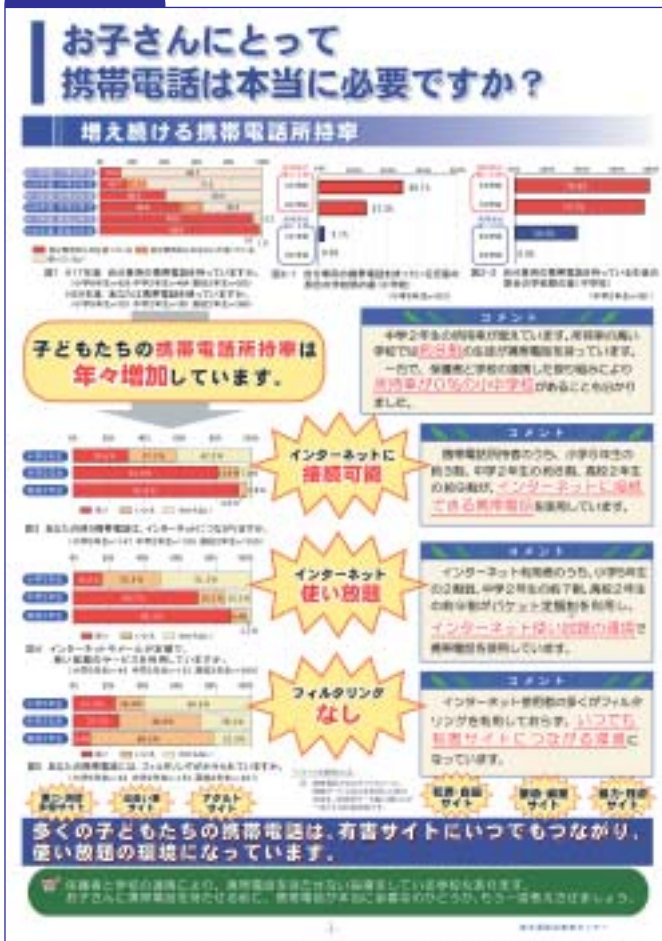
アドバイス

DVDは、参加者に合わせて選定しましょう。

アドバイス

資料として、栃木県総合教育センターで実施した「情報モラルの育成に関するアンケート」などがあります。(栃木県総合教育センターのホームページにアップされています。)

参考資料



栃木県総合教育センターで作成したパンフレット「もう一度考えよう！ネットにつながる携帯電話」の一部です。栃木県総合教育センターのホームページからダウンロードすることができます。

(<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/>)

このほかにも、
独立行政法人教員研修センター
(<http://www.nctd.go.jp/>)

財団法人コンピュータ教育開発センター
(<http://www.cec.or.jp/CEC/index.html>)

社団法人日本教育工学振興会
(<http://www.japet.or.jp/>)

警視庁サイバー犯罪対策
(<http://www.npa.go.jp/cyber/>)

のホームページに、参考になる資料がアップされています。

もう一度、携帯電話3つのコーナー 【10分】

ねらい

携帯電話の功罪を理解してから、もう1度3つのコーナーを実施することで、提案書づくりの意欲を高める。

- ① 「携帯電話を中学生に持たせることをどう思うか」という質問に、「賛成」「反対」「どちらともいえない」の3つのコーナーのいずれかに移動する。
- ② 1回目と考えが変わった人の中から、数人が理由を発表する。
- ③ 同じ考えの人で、4人のグループをつくる。

準備物

3つのコーナーのカード

🗑️ アドバイス

今まで学習したことを生かして判断するように伝えましょう。

🗑️ アドバイス

理由をできるだけ詳しく話すように伝えましょう。

🗑️ アドバイス

同じ考えの人同士で提案書づくりをすることを伝え、意欲を高めましょう

提案書をつくろう 【40分】

ねらい

地域の子どもたちや保護者に、携帯電話の所持や使い方について、提案書をつくることができる。

- ① 賛成の人は、子どもや保護者に契約内容や使い方について提案したいことを自分なりに書く。反対の人は、子どもに持たせない理由をどのように説明するか書く。どちらともいえない人は、どちらかを選択して書く。
- ② グループで話し合い、これだけは外せないというもの3つを選び、3か条の提案書を作成する。
- ③ 各グループで作成した提案書を発表し合う。
- ④ 作成した提案書を、どのように地域の子どもたちや保護者に発信していくか話し合う。

準備物

提案を書くワークシート、マジック

🗑️ アドバイス

契約内容や使い方の約束などを考えるように伝えましょう。

🗑️ アドバイス

〇か条は、参加者の様子を見て、増減させましょう。

🗑️ アドバイス

発信するために行政としてどのようなサポートができるかを考えておきましょう。

例：中学校への連絡
市町の広報紙への掲載

付随して期待される効果

- ・参加者が、子どもたちの健全育成を目指した団体に参加することや、新たに自分たちでグループを結成することが期待できる。

ワークシート



携帯電話に関する約束事 持たせない理由を説明しよう

1

賛成の人 → 守ってほしい契約内容や約束事をたくさん書きましょう。

反対の人 → 理由をどのように説明するかたくさん書きましょう。

番号	賛成の人 → 守ってほしい契約内容や約束事をたくさん書きましょう。 反対の人 → 理由をどのように説明するかたくさん書きましょう。



携帯電話に関する3か条の提案書

2

グループで話し合い、これだけは外せないというものを選び、3か条の提案書をつくりましょう。

